

豊後大野警察署協議会

第1回会議の開催状況

第1 開催月日

令和6年6月12日（水）

第2 出席者

公安委員
協議会 委員 3名
警察署 署長、副署長、総務会計課長、地域交通課長、警備課長、総務係長 6名

第3 議事の概要

- 1 業務説明等
警察署から
・業務重点推進状況等
について説明がなされた。
- 2 諮問事項の決定
警察署から、今年度の諮問事項として
・交通事故防止対策及び詐欺被害防止対策
について提案がなされ、委員の賛同を得た。
- 3 意見、質疑応答等
 - (1) 道路環境整備に対する謝礼と交通取締り要望
委員から「先日、道路の白線が消えている件で相談したが、早急に対応していただいた。そのおかげで、一時停止する車が増え、安心して通行できるようになった」との言葉をいただいた。さらに、同委員から「中九州横断道路の大野ICから降りたところにある交差点で、一時停止をしない車が多く、危険を感じる」旨の意見がなされ、警察署から「現場を確認した上で、今後、交通取締りを検討したい」旨の説明がなされた。
 - (2) 速度違反取締りについて
委員から「市内各地でスピード違反の取締りをしていただき、市内でスピードを出す車が少なくなったと感じている。ただし、早朝に仕事等で外出する沿線の住民から、大型バイクがスピードを出して危険を感じているという声をよく耳にする。早朝におけるバイクに対する取締りもお願いしたい」旨の意見がなされ、警察署から「詳細な場所を確認して対応したい」旨の説明がなされた。
 - (3) バック駐車について
委員から「先日、ある観光地を訪れたところ、駐車場に『バック駐車専用』との標示が路面にあった。とても良い取組みだと感じた」旨の意見がなされ、警察署から「バック駐車を推進するため、横断幕の設置やコンビニに対するモデル店舗の指定等も考えているところである。また、今後バック駐車による利点等を含めて積極的に広報したいと考えている」旨の説明がなされた。
 - (4) 特殊詐欺被害防止について
委員から「今年5月末現在、県下でのロマンス詐欺の被害総額が約7億円と伺った。このような詐欺を防ぐために、警察だけでなく、県全体で、更なる啓発活動が必要だと感じた」旨の意見がなされ、警察署から「各種団体と連携し、引き続き広報啓発活動を推進する。また、最近ではネット銀行への振り込みや仮想通貨等を利用した手口も増えており、それに向けた対策も講じていきたい」旨の説明がなされた。
 - (5) 運転免許証の返納について
委員から「高齢運転者の免許証の返納についてであるが、全国的に高齢者による交通事故のニュースを耳にする。大きな事故を起こしてからでは遅く、高齢者だけでなく、その家族に向けた啓発活動も重要ではないかと考える」旨の意見がなされ、警察署から「高齢運転者に対して、今後も引き続き、加齢に伴う運転機能の低下等を説明するとともに、家族の協力も求めながら運転免許証の返納を促したいと考えている」旨の説明がなされた。
 - (6) 交通事故の現状について
委員から「中九州横断道路で事故が多く発生しているようであるが、発生場所の多い区間はどこか」旨の質問がなされ、警察署から「犬飼から竹田方面に向かう路線で、ポール等に衝突する自過失事故が多く発生している。また、昨年度は、大野東ICと大野ICの間で、鹿と衝突する事故が多く発生した」旨の説明がなされた。